

Ⅱ. 入学者選抜

2. 特別選抜

2－3. 産学連携社会人コース

特別選抜

2-3. 産学連携社会人コース特別選抜

産学連携社会人コースは、本学との産学連携研究等を通じて博士の学位を目指す社会人を対象としています。講義及び研究指導は石川キャンパス及び東京サテライトで実施しますが、オンライン形式で受講できる機会もあります。

このコースに在籍する博士後期課程学生は、以下の産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）または産学連携先端科学技術プログラム（一般）の選択を必修とします。

なお、産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）を希望した場合であっても、産学連携先端科学技術プログラム（一般）での合格と判定されることがあります。

産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）

これまでの研究業績や、所属機関と本学との産学連携研究等を通じた研究業績等を踏まえて、最短1年（※）での博士学位の取得を目指すプログラムです。

研究・学修の進捗状況によっては、1年以上に延長することも可能です。

産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）を選択するためには、出願時点において、査読付き国際誌学術論文（発表済みまたは発表決定済みのもの）1報以上またはそれに準じる研究業績を有することを条件とします。

産学連携先端科学技術プログラム（一般）

所属機関と本学との産学連携研究等を通じた研究業績等を踏まえて、標準3年での博士学位の取得を目指すプログラムです。

あらかじめ3年を超える長期の履修計画とすることや、研究・学修の進捗状況によって3年未満（※）に短縮することも可能です。

産学連携先端科学技術プログラム（一般）を選択するうえでは、出願時点において、研究成果（論文発表されていないものや所属機関等で活用されていないものを含む）を有することが推奨されます。

（※）大学院設置基準の規定により、博士課程の修了には、修士相当課程の在学年数を含め最低3年以上の在学期間が必要となります。このため、例えば、修士相当課程を1年で早期修了した場合は、本制度による博士後期課程の修了に最短2年の在学期間が必要となります。

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	令和7年10月入学	若干名（注1）
		令和8年4月入学	若干名
		令和8年10月入学	

（注1）産学連携社会人コース特別選抜令和7年4月募集人員を含みます。

2. 出願資格

入学希望月の前月末日までに[要件 A]に該当し、かつ、[要件 B]の(1)～(8)のいずれかに該当する者。

[要件 A] 大学等を卒業後、入学時まで 6 か月以上の有職経験があり、現に就業し入学後も就業しながら修学する者。

有職経験には非常勤を含む。ただし学生の間のアルバイト、TA、RA等は含まない。

[要件 B]

- (1) 修士の学位又は専門職学位(学校教育法第 104 条第 3 項の規定に基づき学位規則(昭和 28 年文部省令第 9 号)第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下同じ。)を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
国際連合大学：国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和 51 年法律第 72 号)第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された大学
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和 49 年文部省令第 28 号)第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学において当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの)
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達したもの

※上記出願資格 [要件 A] に該当し、かつ、[要件 B] の(1)～(6)のいずれかに該当する場合は、入学資格審査を受ける必要はありませんので、「3. 出願期間」に進んでください。

[入学資格審査]

出願資格 [要件 B] の(7)、(8)により出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査を行うので、入学資格審査要項及び出願調書等を本学ホームページ(入学案内→学生募集要項)からダウンロードし、直接入力・印刷の上、次の期日までに審査書類を提出してください。

ただし、大学院設置基準の規定により、博士課程の修了には、修士相当課程の在学年数を含め最低 3 年以上の在学期間が必要となるため、『産学連携先端科学技術プログラム(早期修了)』を希望する場合は事前に電子メールで教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)にご相談ください。

試験区分			提出締切日（必着）
産学連携社会人 コース特別選抜	令和7年10月入学	第2回	令和7年5月30日(金)
	令和8年4月入学	第1回	
		第2回	令和7年8月28日(木)
		第3回	令和7年10月22日(水)
令和8年10月入学	第1回		

入学資格審査の詳細については入学資格審査要項を参照してください。

[入学資格審査 URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-guide/Eligibility.html>

審査結果通知書は、出願締切の1週間前までに本人宛に通知します。審査結果通知書が届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。入学資格を認められた場合に限り、出願することができます。

3. 出願期間

出願期間は次のとおりです。出願期間内に「4. インターネット出願登録」、「5. 証明書類の郵送」を行ってください。

試験区分			出願期間（期間内の消印有効）
産学連携社会人 コース特別選抜	令和7年10月入学	第2回	令和7年6月16日(月)～26日(木)
	令和8年4月入学	第1回	
		第2回	令和7年10月21日(火)～11月4日(火)
		第3回	令和7年12月3日(水)～16日(火)
令和8年10月入学	第1回		

※令和8年10月入学の第2回の試験日程は、来年度公表の学生募集要項に記載します。

※令和8年4月入学の第1回～第3回とも出願することは可能ですが、出願手続きはその都度行う必要があります。

4. インターネット出願登録

インターネット出願登録前に出願者はあらかじめ希望指導教員に連絡をとり、研究室受入れの内諾を得てください。

加えて、希望指導教員を通じて、取得を希望する学位を担当する副研究科長から、産学連携先端科学技術プログラム受入れの内諾を得てください。

ただし、これらの内諾は合格を確約するものではありません。

本選抜はインターネットで出願登録を行います。インターネット出願登録後、「5. 証明書類の郵送」を行うことで、出願手続きが完了します。

インターネット出願登録は本学ホームページ（入学案内→インターネット出願）のインターネット出願登録サイトから行います。

出願登録方法の詳細についてはインターネット出願登録サイトを参照してください。

[インターネット出願登録サイト URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/internet-application/internet-application.html>

(1) 検定料

インターネット出願登録の際、検定料を納付する必要があります。支払い方法等については、インターネット出願登録サイトでご確認ください。

区分	金額	摘要
検定料	30,000 円	・ 検定料とは別に払込手数料が必要です。 ・ 納付された検定料は原則返還しません。

(2) アップロードする書類

インターネット出願登録の際、任意の様式及び所定の様式等をアップロードする必要があります。所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードし、直接入力してください。なお、PDF 形式でのアップロードを推奨します。

[所定の様式ダウンロード URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-d.html>

① 出願者全員がアップロードする書類

出願書類等	備 考
顔写真	出願前 3 か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー顔写真データ（jpeg, jpg, png, bmp のいずれかのファイル形式で最大 2MB まで）を用意し、インターネット出願登録サイトに従いアップロードすること。 ※写真の加工はしないこと。
本学入学前の研究概要	【様式任意】 これまでに行った研究について、 <u>A4 判片面印刷で 4 枚以下（字数は自由）</u> にまとめたもの。論文発表されていないものや企業等で活用されていないものを含めてもよい。研究に関する論文発表等があれば、本文の後にリスト等を付記してもよい（総枚数に含む）。日本語又は英語で記入すること。なお、 <u>各ページ右上に氏名及びページ番号を記入すること</u> 。
本学入学後の研究計画	【様式任意】 本学入学後において取り組みたい研究計画について、 <u>A4 判片面印刷で 2 枚以下（字数は自由）</u> にまとめたもの。日本語又は英語で記入すること。なお、 <u>各ページ右上に氏名及びページ番号を記入すること</u> 。
産学連携先端科学技術プログラム希望届 ※本学所定様式	産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）または産学連携先端科学技術プログラム（一般）のいずれかを選択すること。
職歴調査 ※本学所定様式	書類は 11 ポイント以上のフォントを用い <u>A4 判片面 1 枚に収めること</u> （補足資料の添付は不可）。
特定類型該当性の自己申告書 ※本学所定様式	

研究室受入文書	【様式任意】 希望指導教員の研究室受入れの内諾を得たことが分かる電子メール等の文書
産学連携先端科学技術プログラム受入文書	【様式任意】 副研究科長から本プログラムへの受入れの内諾を得たことが分かる電子メール等の文書。希望指導教員を通じて入手すること。

② 該当者のみアップロードする書類

<出願資格 [要件B] (2) (3) (4) (5) (6)該当者>

出願書類等	備 考
学校教育等履歴書	大学に限らず、外国において学校教育を受けた出願者は提出が必要。

5. 証明書類の郵送

インターネット出願登録後、次の証明書類を郵送してください。証明書類は一括して、角2封筒（出願者の氏名・住所を明記し、「産学連携社会人コース特別選抜・証明書類在中」と朱書きすること）に入れ、速達書留郵便で送付してください。なお、教育支援課入試係窓口を持参し、提出することも可能です。

(1) 出願者全員が提出する書類

出願書類等	備 考
成績証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身大学院の学長又は研究科長が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 出願資格(7)、(8)のいずれかに該当する者は提出不要。
修了（見込）証明書 ※写し（コピー）不可	
同意書 ※本学所定様式	知的財産に関わる事項について、志願者及び所属機関の担当者に確認の後、それぞれの署名が必要。
推薦書 ※写し（コピー）不可	【様式任意】 所属機関の上司等が作成したもの。
研究業績に関する資料	1. 査読付き国際誌学術論文またはそれに準じる研究業績の写し（発表済みまたは発表決定済みのものに限る。）産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）を選択する場合は必須とする。 2. 【様式任意】その他の研究業績リスト

(2) 該当者のみ提出する書類

<出願資格 [要件B] (2) (3) (4) (5)該当者>

出願書類等	備 考
修士の学位授与（見込）証明書 ※写し（コピー）不可	出身大学院の学長又は研究科長が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 修了証明書等で学位取得が確認できる場合は提出不要。

<婚姻等により証明書と氏名が異なる者>

出願書類等	備 考
戸籍抄本等	旧氏名、新氏名が確認できるもの。

(注)「写し(コピー)不可」について

証明書は写し(コピー)ではなく、原本を提出してください。なお、偽造防止処理のない用紙に電子押印された証明書の場合、出身大学院による厳封がされていないものは受理しません。

原本の提出ができない場合は、Certified True Copy(原本から正しく複製されたものであることが出身大学院又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの)を提出してください。

【郵送・提出先】〒923-1292 石川県能美市旭台1-1
北陸先端科学技術大学院大学 教育支援課入試係
窓口受付時間：9時～17時 (土日・祝日等を除く)

6. 選抜方法

出願を受理した場合、専門分野等を考慮した上で本学で面談担当教員を決定します。

その後、面談担当教員から受験者へ連絡しますので、面談の日程、場所、方法等について相談の上、決定してください。面談は、主にWEBコミュニケーションツール等を用いて行い、詳しい研究内容・学生生活等について話し合います。

面談の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者発表日及び入学手続

次のそれぞれの合格者発表日に、受験者全員に合否結果を通知します。

ホームページへの掲載は行いません。また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時又は発表後に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分		合格者発表日	入学手続期限
産学連携社会人 コース特別選抜	令和7年10月入学	第2回	令和7年9月4日(木)
	令和8年4月入学	第1回	
		第2回	令和8年1月23日(金)
		第3回	令和8年2月27日(金)
	令和8年10月入学	第1回	令和8年9月中旬予定

(2) 入学時納付金

区分		金額	摘要
①入学料		282,000 円	・入学手続書類に同封する振込依頼書により納付してください。 ・納付された入学料は返還しません。
②授業料	前・後期各	267,900 円	・全国の銀行・信用金庫・信用組合及びゆうちょ銀行の「預金口座からの振替（引落し）」による納付方法を導入しています（農協及び漁協は利用不可）。
	年額	535,800 円	・授業料の振替日は、前期分が毎年5月20日、後期分が毎年11月20日です。 ・年額での納付も可能です。
③保険料 (3年分：学生教育研究災害 傷害保険・学生教育研究賠償責任保険)		3,620 円	・左記2つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。

(注) 1. 納付金についての詳細は入学手続時に通知します。

2. 入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。

8. その他の重要事項

- (1) 産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）を希望した場合であっても、産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）としては不合格、産学連携先端科学技術プログラム（一般）としては合格となる場合があります。この場合、産学連携先端科学技術プログラム（一般）を選択して本学に入学することができます。
- (2) 「Ⅲ. 重要事項」を必ず確認してください。